

# 最新鋭ごみ処理施設「所沢市 東部クリーンセンター」

## 1. はじめに

JFE エンジニアリングは、2000年6月に所沢市より「東部クリーンセンター」を受注し、2003年3月末に竣工した。本施設は、法規制値の十分の一以下というダイオキシン類(DXN類)の排ガス規制値をはじめとした厳しい環境規制値に対応した最新鋭の排ガス処理設備を中心に、高効率発電設備、灰溶融設備、資源ごみからの資源回収を目的とし

DXN類とNO<sub>x</sub>の同時抑制機能を十分に発揮すべく設計された最新鋭ストーカ炉である。

焼却炉から排出された排ガスは、ろ過集じん器、湿式洗煙装置、活性炭吸着塔、触媒脱硝装置で処理する。特にDXN類については、移動床式の活性炭吸着塔を設置することにより厳しい排出規制値をクリアしている。

ろ過集じん器で捕集された飛灰は、焼却炉から出た主灰、および所沢市西部クリーンセンターから排出される飛灰とともに溶融処理され無害化される。

排ガス処理設備：  
×2基)

ろ過集じん器、湿式洗煙装置、活性炭吸着塔、  
触媒脱硝装置

灰溶融設備：電気式 溶融能力 30 t/d × 2 炉

リサイクル設備：処理能力 88 t/5 h

不燃・粗大ごみ処理施設 43 t/5 h

資源ごみ処理施設 30 t/5 h

プラスチック類処理施設 15 t/5 h

## 3.2 余熱利用システム

廃棄物焼却により発生する廃熱は、高温、高圧ボイラ(過熱器出口で4.0 MPa、400℃)によって熱回収を行う。ボイラから発生した蒸気は、センター内利用分以外は、蒸気タービンに送られ、積極的なサーマルリサイクルを図っている。発電した電力は、センター内での必要量をまかない、余剰分は東京電力(株)に売電される。

## 2.2 所沢市環境自主規制値(排ガス)

ばいじん	0.01 g/Nm <sup>3</sup> 以下
塩化水素	20 ppm 以下
硫黄酸化物	20 ppm 以下
窒素酸化物	50 ppm 以下
一酸化炭素	30 ppm 以下
DXN類	0.01 ng-TEQ/Nm <sup>3</sup> 以下

## 4. おわりに

今後のごみ処理施設は、地域との調和はもちろんのこと、M合わせ先>

## 3. 施設の特徴

### 3.1